

第3回桜川市新庁舎建設検討委員会会議録

【1】日 時：平成30年2月1日（木） 午後1時30分～午後3時10分

【2】場 所：桜川市役所 大和庁舎 3階大会議室

- 【3】会議次第：1 開 会
2 吉田委員長あいさつ
3 委嘱書の交付
4 報 告
（1）稲敷市役所新庁舎視察の報告
（2）第2回検討委員会の審議結果
5 議 事
（1）新庁舎の機能について
（2）新庁舎の位置について
6 そ の 他
7 閉 会

【4】出席者

（1）委員

No.	職 名	氏 名
1	常磐大学 総合政策学部 法律行政学科 准教授	吉田 勉
2	桜川市議会総務常任委員会 委員長	市村 香
3	桜川市議会文教厚生常任委員会 委員長	鈴木 裕一
4	桜川市議会建設経済常任委員会 委員長	飯島 重男
5	桜川市区長会連合会 会長	大関 隆司
6	桜川市区長会連合会 副会長	入江 利雄
7	桜川市区長会連合会 副会長	小河原 勲
8	桜川市教育委員会 委員長	古橋 矩子
9	桜川市農業委員会 会長	稲葉 則夫
10	桜川市商工会 会長	皆川 光吉
11	桜川市商工会 女性部会長	仁平 千鶴子
12	桜川市観光協会 会長	橋本 慶晴

1 3	桜川市消防団 団長	羽野島 幸雄
1 4	桜川市社会福祉協議会 事務局長	安達 徹
1 5	北つくば農業協同組合 女性部会長	千勝 真知子
1 6	桜川市 PTA 連絡協議会 会長	重村 秀一
1 7	桜川市交通安全母の会 会長	小川 よし子
1 8	総務部長	阿久津 裕治

【5】欠席者

(1) 委員

No.	職 名	氏 名
1	桜川市議会 議長	高田 重雄
2	桜川市議会 副議長	風野 和視
3	桜川市 P T A 連絡協議会 女性ネットワーク委員会 委員長	渡邊 牧
4	桜川市高齢者連絡協議会 会長	櫻井 昇
5	桜川市市長公室長	小川 豊

【6】事務局

No.	職 名	氏 名
1	桜川市市長公室企画課 企画課長	柴 保之
2	企画グループ長	秋山 健一
3	主幹	鶴見 健太郎
4	主事	枝川 周平

【7】会議録署名委員

小河原勲委員、小川よし子委員

【8】会議の経過

- 1 開 会：午後1時30分
- 2 吉田委員長あいさつ：吉田勉委員長
- 3 報 告
 - (1) 稲敷市役所新庁舎視察の報告
 - ・意見は特になし
 - (2) 第2回検討委員会の審議結果

【合意出来たことに関する意見】

- 合意できたことが重要で、本庁舎方式とする。
- 支所を置くという事には、1回目で議論したが、「本当に支所を置くのですか」と改めて支所を置くことを議論してもらい、置く理由として「歩いて行ける」「自転車でも行ける」「行政とのかかわりがなくなってしまう」「防災機能としても必要だ」とか積極的な意見があって、皆さんの意見で支所を置くことになった。
- 支所の在り方では、職員数は極力少なくして、最低限のサービスを行うこととして、相談業務など職員が議論など行うようなことは、本庁で行うことでまとまった。
- 機能について、皆さん一人一人から意見を頂いたところ、ランドマークとかきらびやかなものは要らない。シンプルで市民が入りやすいもの、それから値段に見劣りしてもダメだとか、実務的なものとあった。かなり中身を重視して、見せ方とかそういうものにはあまり関心が無かった。

5 議 事

(1) 新庁舎の機能について

【安全・安心な庁舎に対する意見】

- ・防災機能は大事で、どこの自治体でも新しい庁舎のコンセプトには最初に入っている。
- ・安全安心な庁舎のなかで、重要な「防災拠点となる」は、新しい建物ではテレビ会議ができるような部屋とかそういうイメージか。⇒そういう感じだと思う。
- ・昨年9月の台風の時に、地元の消防団、警察等が集まったが、現在の部屋では狭いので、モニターを見られる部屋とか、会議が出来る部屋とかの場所を本庁舎に設置したらいい。
- ・視察した時、稲敷は災害対策についての機能は本庁でまるごと引き受けていたのか。支所との関係で、もしわかれば。
 - ⇒稲敷市の場合ですが、桜川地区センターのパンフレットのコピーに「今後、地域の防災拠点として、避難所としても指定される予定である」と書かれており、会議室等部屋があるため避難所としての防災拠点となっていると思う。
- ・2回目の議論の中で、支所があるのは防災上必要だという意見があったが、そうすると、本庁の災害対策本部機能と支所との関係はどんな感じになるのか。
 - ⇒本庁は防災機能としては、司令塔としての役割、支所は実践したり、避難したりといったことになると思う。
 - ⇒本庁舎においては、防災の本拠地点として活動する。支所は本部で決めたことを現場に伝えるという程度の役割になると思う。
 - ⇒支所がどのような建物になるかわからないが、避難所というのは別に指定されてあるので、住民が支所に避難するということはあまり考えられない。
- ・支所の役割は避難所ではなく、連絡中継という事になるのか。
 - ⇒桜川市は南北に縦に長いので、対策本部で出した指示を現場へつなぐという形にな

る。

- ・今の時代なので、ITを屈指した最先端の防災拠点、テレビ電話をはじめITを利用したものを構築できればいい。⇒インターネットとかが生きていれば使える。

【市民サービスの向上を目指した庁舎に関する意見】

- ・ユニバーサルデザインの導入とは、どういうものを意味しているのか。
 - ⇒障害者の方に対応することはもちろん、健常者でも外国から来られた方とか、子供連れの方とか、すべての方に対応できるような配置なり案内とかのこと。注釈をつけるようにする。
 - ⇒ユニバーサルデザインは、UDとも言うが、すべての方に優しいとか、すべての方に使いやすいとかの事をいう。具体的には障がい者の方とか、高齢者の方とかが使いやすい庁舎ということになる。
- ・稲敷市役所は、ユニバーサルデザインという事で、庁舎の中央が吹き抜けて、待合室を広くとってゆったりとしていたが、それで職員の執務スペースが狭く困っているなどと聞いたので、あんな広いスペースが必要なのか。また、2階にも自動販売機などが置かれていて広いスペースがあっても、誰もいなかった。果たしてあんなスペースが必要なのか。あれがユニバーサルデザインなのか。空調設備もうまく調整できていないなどとも言っていた。
 - ⇒実際に建てるとか設計に入るときは、十分そうところを皆さんと良く検討しながら進めて行きたい。

【シンプルで機能性と経済性に優れた庁舎に関する意見】

- ・お金があってもどれだけかけてもいいならば、吹き抜けも良いけれど、桜川市はこれから、人口は減るし、あんまり立派すぎるものはいらない。特に、桜川市はその昔、質素儉約の二宮尊徳さんにご指導してもらった土地柄だから、その当たりをよく考えて、身の丈に合ったものを、設計でも立派すぎるものはさけて、それでも、石張りだとか桜川市だというのはエントランスとかにつけてもらいたい。
 - ⇒ちょっと反する意見ですが、最初からの設計なので、リフォームする訳ではないので、シンプルシンプルと言って出来上がってみて、「何だこれは」というものになってしまってはしょうがない。シンプルは必要だけれど、住民サービスを念頭においてもらいたい。
- ・広すぎても空調が難しいとなるなら、コンパクトという言葉がないので、3番目の柱の説明の「無駄を省いたシンプルな庁舎」とあるところを「無駄を省いたシンプルでコンパクトな庁舎」とした方がいい。
- ・コンパクトとはイメージ的には、どんなイメージか。スペースか。吹き抜けか。
 - ⇒吹き抜けは広く見えて当然良いが、やはり閑散とするようでも困る、ある程度のスペ

ースがあればいい。

⇒広々としたものでもなくて、ある程度凝縮した感じ。

【コンセプトのまとめ】

- ・委員の皆さんは、3番目の経済性とか機能性とか言ったものを重視している。吹き抜けとかそういったものではなく、経済性とかを工夫したらどうかということ。
- ・他の自治体には、市民向けサービス面というところはあったが、桜川市の3番目の経済性という言葉は、あまり見られない。それだけしっかりやって行こうという実務的な意見で、経済性とかシンプルとかコンパクトをコンセプトに入れるということは、これからの設計とかを縛ることにともなり、そういう意味では効果があること。
- ・機能では、1番の「安全安心」と2番の「市民サービスの向上」。3番目は予算的なもので、「シンプルで経済性」といったもので、桜川市の特徴的なものである。コンセプトの方向性はこの3つでよろしいか。⇒各委員よりよろしいとの声

【防災 その他】

- ・以前は各区長の自宅に防災無線の受信機が配布されていたが、現在は返却してありません。それが、配付されれば防災の連絡網の事でだいぶ助かるのではないかと。
⇒デジタル化になって、前の受信機はアナログなので使えなくなる。また、個別受信機は聞きにくい所には配付すると思う。
- ・3.11の地震の時、岩瀬庁舎にいたけれど、その時余震で中に居られなくて、外で対策本部を行った。2日目に対策本部を大和庁舎に移して、玄関入口のロビーのところで行ったが、やはり、対策本部の形が良くわからないので、対策本部の形をきちっとやって頂きたい。

(2) 新庁舎の位置について

【位置を決める基準・観点について】

- ・新庁舎の位置を決めるに当たって、どういう基準から見たらいいのか、こういう観点からとか、こういう考え方からとかご意見をお願いします。
- ・住民の利便性、南北、東西を考えて「住民が行きやすい、使いやすい」という利便性。
- ・地域性を考えると、人口が密集しているところは、岩瀬地区と真壁地区で、大和地区が真ん中となっている。岩瀬地区で多くの住民の意見を聞いたところ、「真壁地区のほうに本庁舎を持って行かれると遠くてちょっとなあ」という声は結構多い。それで、ではどこだといった場合、「大和なら真ん中で、まあいいかな」という意見が岩瀬の住民の方々からある。

⇒住民からすれば、土地感情というのはどこに造っても捨てられない。それを言ってし

まうと会議にならないので、土地感情を外して議論していかないと。

- ・人口の密集性というのはどういうことか。人口が密集している地区がいいという事か。
 - ⇒そういう意味ではない。桜川市は南北に長く、南と北に密集しているので、片側に持って行ってしまうと、反対側からいろいろとあるということ。その反対もしかり。それで、私が思うには真ん中が一番ではないのかという事。それと経済性の面も考えると、資料からみても真ん中が安くできるのでないかと思う。
- ・常総市役所が水浸しになって大変だったことがあったが、防災機能という点から考えると、高台にあってそういう事がない大和庁舎の所が良いのでないか。
- ・常総みたいな水害の危険は、桜川にあるのか。
 - ⇒危険とかではなく、資料から桜川に隣接しているとあるので、川のそばではなくて、高台に位置しているということでは、防災を考えるならばいいのではないか。
 - ⇒桜川の源流は桜川市にあるので、あまり河川の氾濫という事はないが、下流で氾濫が起きなくても、大和堰のあたりで鎌田地区の水田が浸水したり、羽田地区で若干の浸水があったりはあるが、大規模な氾濫は最近ではない。
- ・この資料3というのは、とても大事な資料だと見せていただいた。私も大和庁舎の所が良いと思う。それは、いろいろな観点からで、まず一つ目が、真壁の一番遠いところから大和庁舎まで、あるいは、岩瀬の一番遠いところから大和庁舎までで、だいたいそれぞれ最大11キロメートルくらい離れているので、位置的に真ん中であるという事は、利便性という面でも真ん中である。二つ目は、東日本大震災の1年後か2年後に朝日新聞に、茨城県内の市町村の庁舎の建っている土地の地盤の耐震性が良いのはどこかという記事があり、桜川市の大和庁舎のところは、県内で3番目ぐらいに強固な地盤の所だと出ていて、揺れがものすごかっただけに印象深かった。庁舎とは関係ないが、雨引山の楽法寺が建っているあたりがこの辺では一番強い場所だといわれており、そういった意味でも、県内でも誇れる地盤の強固なところではないかと、その庁舎が防災拠点とするということから考えたときに候補地に残る。あと、地震ハザードステーションというインターネットで調べるところがあり、どこが強固なところかなと調べると、大和地区は強固なところだと出ているので、そういった意味でも大和庁舎のところに本庁舎を建てるという事は賛成である。
- ・地盤について何か説明できる資料がありますか。
 - ⇒事務局でその所を調べて下さい。
- ・大和の場合、市の所有地が集まっていて面積もかなりあるので、市有地に建てるとなればコスト的にもずいぶん安くなるのでないか。また、岩瀬と真壁にすると駐車場もあまりないし、岩瀬の場合は借地でもあるので、そういう面でも、大和であれば市有地でもあるし面積もあるのでコストも安く済むと思う。
- ・本庁舎が岩瀬でも真壁でも端端になったとしても、支所が出来るのであれば、別にどこに出来ても問題ないのではないかと思うが。真ん中にあれば、逆に支所は必要ないのではないかと思うが。

⇒やはり真ん中であつた方が良いと思う。簡単な事務は支所に行く。ところが、難しい相談とか複雑なものは本庁に行くことになる。仮に真壁に本庁があつて木植の方から行く場合に、グルーッと回っていくことになると40分かかる、逆もある。そういうことを考えると、真ん中なら比較的に近いとなるわけで、良いのではないかと思う。また、役所の職員にしても何かあつた時にも行ける。あまり端のほうにあると行くのにも遠いとなるので、地理的に近いところで真ん中が良いと思う。

【位置を決める基準・観点のまとめ】

- ・「市民が使いやすい、集まりやすい」といった点からアクセスのしやすさ。
- ・市有地であるという事は重要なポイントで、市有地の大きさではあつた方がいい。借地でなく公有地であつた方が良い。
- ・お金の面から、経済性という意味で、耐震診断されていてすでにある施設が使える、あるいは耐震対策が施されている施設が使えるということ。
- ・自然環境で河川から離れているところ、高台にあるということ。地盤が強固なところ。
- ・地理的には、河川から離れている、高台にある。
- ・そういった観点から、この委員会では候補地を絞っていくという事でよろしいか。
⇒各委員より「はい」との声

【候補地について】

- ・委員の皆さんにこういった観点の理由から、4つの候補地の中からどこが良いか意見を述べていただいて、意見を集約していきたいと思う。

【大和庁舎敷地に関する意見】

- ・地形を見ても、長方形で長い、その真ん中で大和庁舎の周辺のところ。そこには、市有地がたくさん集約されていることなので、全体的なバランスから見てもここが良い。
- ・私もまったく同じ。あと、防災拠点となる施設がこれだけ周りにあるところは、茨城県でも少ないので、これをうまく利用した方が良い。
- ・行政サービスを行うのに市民全体を考えて、やっぱり真ん中あたりが良い。
- ・やはりいろいろな施設が揃っている。土地を買う必要がない。そして、距離とかの利便性で大和が良い。
- ・皆さんと同じで大和が良い。防災拠点として展開していくのには、中心のほうが発展しやすいといった観点から大和が良い。
- ・市の位置的に中心であることと、防災機能を考えるとこれだけの施設が周りにあること、地理的にも河川から離れていること、高台にあること、市有地であることを含めて考えると大和庁舎周辺だと思う。
- ・皆さんと同じ意見。地理的に考えて桜川市の中央ということでこの地ということと、敷地面積が広いということはそこにコミュニティセンターとか体育館とかも造れるという事

にもなる。

- ・私からにすれば、合併してからずっと大和庁舎であるのでそういうものだと思っていて慣れてしまっている。それが岩瀬庁舎となると「遠くなる」という感じがする。距離感と地盤が強固な場所となれば、防災の面からも大和でないのかと考える。
- ・私は先ほど言いましたように、大和地区がいい。それは、地理的に旧の3町村のほぼ中央に位置しているので来やすいこと。地盤が強固という事が県でも名だたること。市の財産である市有地が広くあるということは、これからいろいろな面で活用できる。その他いろいろあるが、その3点で大和地区が適していると思う。
- ・大和地区で良い。まず、土地の広さ、これからどんなものを造るにしても対応できるのではないか。それから、本庁舎方式でいくのだから真ん中で大和庁舎のところよろしい。
- ・利便性、経済性で大和地区です。このグーグルマップを見ると市有地が大和だけが一か所にまとまっている。
- ・大和地区が良い。
- ・私は大和に住んでいて、大和庁舎の建っているこの場所は、前から地盤が固いという事を聞いている。そして、防災関係からにしても、施設がここは揃っている。
- ・さっき出た意見で支所が出来るならどこでもいいでしょうとありましたが、支所で全部の機能を受付できるわけでないで、やはり本庁は真ん中あって大事な受付は地区から来られやすい真ん中のこの大和に本庁舎を建てられたらと思う。
- ・東日本震災の時に、大和地区と真壁地区と岩瀬地区で、家屋の倒壊とか被害の度合いは顕著だったか。
⇒岩瀬地区も真壁地区も大国地区なども、お墓は石碑が倒れたけれど、この先にある羽田のお墓は一つも倒れたところがない。だから、それほど下が固いという事ではないのか。
- ・屋根は、ブルーシートはどうでしたか。
⇒屋根はうちの方はやられましたが、羽田の方はやられていないようでした。

【岩瀬庁舎敷地に関する意見】

- ・私は岩瀬なので岩瀬と言いたいところ。JRが通っていること、国道、高速道路が通っているので交通機関が一番がいいのではないのかと思う、お金のことを考えて市有地というところとなってしまう。
- ・交通の利便性では岩瀬はいいですか。
⇒交通の利便性と言っても、全体から見れば岩瀬は利便性ありますが、役所への利便性となれば、国道が通っていることは全然違う。
- ・住民の利便性となれば中心の方が良いと思うが、ほかから来ることの利便性は違うと言いたいところ。でも、色々な点を勘案すると大和になる、でも岩瀬なので岩瀬にとも思う。
- ・交通の利便性という事がありました。今までなかったのもこれも大事な観点だと思う。

【大和駅北地区に関する意見】

- ・支所の役目をどのようにしていくかということで、方向性が決まると思う。もう一つJRの羽黒・岩瀬・大和の3つの駅を使いますと、この資料の最後にある大和北地区も考えられる。公共交通のJRを使えば大和駅北地区も岩瀬エリアの人たちも使えるし、真壁エリアの人たちも、今度病院の方までバスが走ることになるので、総合的な事を考えると、大和駅北地区という事もあり得る。
- ・第2回の委員会で、支所は簡単な手続き、住民票とかそういったものを行う。何回か相談して決めるような複雑なものは本庁で行うと取り決めてきた。そういった面で、支所は最低限なものを行うとなってきたが、そういった観点からだとどうなりますか。
⇒支所にスペシャリストを置くのかといった話がありました。そういった面からも支所の在り方を考えていかないと、本庁をどこにするかといった場合、利便性ばかりを重要視されてしまっている。
- ・総合的な判断からしますとどのような意見になりますか。
⇒総合的な判断からしますと、公共交通の路線バスが大和駅を含む路線を通り、JRで羽黒駅や岩瀬駅からも来る事が出来るので、大和駅北地区が良いという意見です。
- ・大和駅北地区は、ここにゾーニングがありますが、土地とかはあるのですか。
⇒土地とかはこれから、買わなければならない。
- ・土地とかはない。新しく確保していかなければならないという事ですか。
⇒住宅用の土地とかはあるが、庁舎の土地とかはないので求めていかなければならない。その時は基本構想の計画も変更するか新しく作るかすることにもなる。

【候補地に関する意見のまとめ】

- ・皆さん全員にご意見をいただいた。いろいろな観点から真ん中という方、今までの経緯から言われた方。地盤とか市有地の広さ、まとまりがあるなどで、かなりの差をつけて、この大和地区を推薦する委員がおられた。
- ・交通の利便性で、国道50号とかインターチェンジの観点から岩瀬地区という意見もありましたし、大和駅北地区という意見もありました。
- ・委員の大半は大和地区にという意見が圧倒的に多かったが、これについて、いや絶対おかしいという方はおられますか。この委員会として、多数決をとる訳ではありませんが、議論としてはいろいろな意見が示されて、皆さんからそれぞれの意見が述べられて、自然な形でまとまると思います。
- ・委員会としては、機能としては先ほどの3点。位置については、いろいろな判断基準を示したうえで、各人の意見を伺ったところ、全体としては自然な形でまとまり、大和地区と

することよろしいですか。

⇒「よろしい」との意見あり。

【第3回のまとめ】

- ・新庁舎の機能について、これについては3つのコンセプトで事務局から示された。
 - ⇒特徴的なのは、桜川市については経済性の観点からコンパクト、シンプルとかがあり、それ以外に、市民が使いやすいもの、行きやすい、防災のことが示されました。
- ・新庁舎の位置についての判断基準
 - ⇒地理的なこと、広さとか、防災的なものだとか、市有地があることとか、地盤の強さのこととか、交通のこととかありました。
 - ⇒基本的には大和地区が一番良いのではないかと大勢が占めましたので、当委員会としては、このような考え方でまとめて行きたい。
- ・位置的にはここということか。
 - ⇒今は、大和庁舎敷地というか庁舎周辺の市有地ということです。
- ・3月の中間報告で、レイアウトとか示すのか。
 - ⇒中間報告の段階ではそこまでは示しません。あくまでもこの辺りというところまで。

【その他】

- ・視察は、稲敷市だけの1ヶ所しか行かないの。
 - ⇒場所については今大体決まったので、機能とかはいろいろあると思うので、機能を検討していくとかにして、今は情報を集めて、資料で出すことはできると思う。

5 そ の 他

6 閉 会 午後3時10分閉会